

あなたも  
**めざせ！世界遺産登録**  
参加しませんか？

**知られざる候補地 現地視察**  
鎌倉ペンクラブ

**世界遺産登録をめざす活動**  
鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会



第16回  
シンポジウム  
(建長寺)

市民の会（略称）は、平成11年、「鎌倉は世界遺産になる価値のあるまち」と考える諸団体・市民が集まりつくった会です。会の発足時には、鎌倉の良さを知る世界の文化人から賛同するレターが届けられました。

設立後は、鎌倉の文化遺産の価値を明らかにし、市内外の皆さんによく知ってもらおうという趣旨で、年に2度連続シンポジウムを催してきましたが、昨年秋の建長寺での「鎌倉の仏教寺院」（写真）で16回目を数えます。

推進協議会ができてからは積極的に協力して、養老孟司会長の講演会を共催とし、16回目に続き、今年10月に開催予定の17回目のシンポジウム「ここまで来た鎌倉の世界遺産登録」も推進協議会と共催します。

また推進委員の内海恒雄さんの案内で「鎌倉歴史見学会 武家の古都・鎌倉を探る」が18回催されています。

事務局長の福沢健次さんは「推進協議会は団体参加が原則ですので、個人で世界遺産活動に参加したいという方には入会をお勧めします」と参加を呼びかけています。

◎入会ご希望の方は風致保存会内・市民の会事務局

TEL.0467-23-6621 までお申し込みください。



川端康成や大佛次郎ら鎌倉文士によって、昭和初期、鎌倉ペンクラブが結成され、カーニバルを開いたり、貸本の鎌倉文庫

を経営するなど鎌倉文化を支えてきました。21世紀を迎え、鎌倉に再び文化の風を呼び起こそうと復活したのが現在の鎌倉ペンクラブです。

作家や歌人など文筆家、画家、漫画家、ジャーナリストなど180人が参加。かまくらカルタを作って毎年春、カルタ大会を続け、鎌倉百人一首を選ぶなど活発な活動を続けております。

世界遺産登録推進協議会のメンバーとして運動を支えており、会員や一般市民に呼びかけて、登録候補地の一升枳遺跡など“知られざる候補地”を見て回るなど実践活動を始めています。そのほかペンクラブ幹事会では世界遺産候補地を取り上げた文芸作品を集めたり、鎌倉の旧町名運動を進めようといった独自のアイデアも検討中です。

鎌倉ペンクラブ幹事の高木規矩郎さんは、「私は大学で各国と日本の世界遺産比較について講義しており、鎌倉の候補地めぐりでは現地の整備や、市民に対する広報活動の遅れなど早急な対応の必要性を痛感しました」と語っていました。

**「古都鎌倉の世界遺産登録」って  
なに？**

日本の古都と呼ばれる都市のうち、奈良・京都は天皇の御所と朱雀大路を中心として成立しました。

一方、鎌倉は將軍の御所ではなく、源氏の守護神であり、軍神でもある八幡神を祀る鶴岡八幡宮を中心に、その参道の若宮大路を都市の基軸線として発展しました。

奈良や京の都の中心が御所であるならば、鎌倉の中心は將軍御所でもよかったはずですが。けれどもそうならなかったことに、鎌倉の特徴があります。

源頼朝の子孫は実朝で絶えましたが、頼朝に始まっ

**第3回 武家の古都・鎌倉の特徴は？ [前編]**

た武家政権は明治維新まで続きます。そして彼の後継者の多くが、源氏との繋がりを主張しました。そのため源氏ゆかりの鶴岡八幡宮は、鎌倉時代以降も武士たちの信仰を集めてきたのです。

奈良の都は遺跡となり、京の都も御所の位置が変わるなど、今ではその姿が大きく変わっています。これに対し鎌倉では、武家の信仰した鶴岡八幡宮と若宮大路をまちの中心とする、頼朝の造った都市の構造が現代まで生き続けているのです。